

	寄附使途区分	事業名	事業紹介	
1	ふるさとの自然環境および 景観の保全・活用	環境保全費	未来のために美しい地球、ふるさとの自然環境を守ることが私たちの責任であると考え、安来市地球温暖化対策地域協議会と連携し、温暖化対策の普及啓発に積極的に取り組みました。具体的には、幼保施設での木育活動、小学校の環境活動支援、環境イラストコンテストなどを継続実施し、子どもたちの環境意識を高めてきました。 特に令和7年度は、小学校向けに実施しているSDGs講師授業を大人向けとしてまちゼミにて開催し、市民の方が気軽にSDGsを学べる場を提供したり、環境フェア内にて今年で第2回となるどじょうすくいロボコンを開催し、松江高専や情報科学高校の学生と連携しながら小学生がロボコンを通してIT×環境を学べる場を提供しました。 また、市民向け啓発活動としてエコで行こ!!フォトコンテストを初めて開催し、環境問題について改めて考える場を設けるなどの取組を実施しました。 これからも、未来を担う子どもたちへ環境教育を推進し、市民一人ひとりが自分たちにできることを考え、行動するきっかけを提供していきます。	
		農業振興費	安来農林振興協議会の中で構成される様々な部会の中で各種事業を行いました。	
2	子どもの健全育成・ふるさと教育の推進	小児予防接種事業費	予防接種法に基づき定期接種を実施することで、乳幼児期から学童期にかけて感染症の発生・蔓延を予防し、子どもの健全な育成に資します。	
		放課後児童健全育成事業費	核家族や共働き家庭の増加、地域の繋がりの希薄化などを背景に、「こどもの居場所づくり」が強く求められています。そのための取組のひとつとして、放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）では、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生児童を対象に、放課後や長期休業時に安全安心に過ごせる生活と遊びの場を提供しています。 現在、公設、民設併せて17クラブを開設し、安来の子どもの健やかな成長を支えています。	
		小中学校適正配置事業費	次の時代を見据え、予測困難な時代に一人一人が次の世代の担い手となるための教育を目指し、安来市の総合的な教育環境の整備を進めることを目的に「安来市立小中学校適正配置基本計画」を策定しています。 この計画に基づき、再編対象となっている学校の個別基本計画の策定や、開校に向けた準備会の開催などを行っています。	
		教育支援事業費	教員が児童生徒への指導や教材研究等の子どもに直接関わる業務に注力できるよう、市内全小中学校に教員の業務支援を行うスクールサポートスタッフを配置しています。 スクールサポートスタッフが教材の準備や来客対応、給食の配膳準備など教員以外でも行うことのできる業務を行うことで、教員の負担軽減を図ることができました。 今後も引き続き全小中学校にスクールサポートスタッフを配置し、教員が子どもと向き合う時間を十分に取れるよう取り組んでいきます。	
		児童生徒支援総合対策事業費	センター長1名、相談員及び支援員11名を配置し、心理的・情緒的な要因により、不登校や集団に適応できない状態にある児童・生徒の学校復帰及び社会的自立を目指した支援の場として、教育支援センター『あすなろ』を運営しています。 今後も保護者や教職員を含めた教育相談、児童生徒一人一人の状況に合わせた学習活動などの個別支援や少人数集団でのさまざまな体験活動を通じた支援を行い、児童生徒の居場所の確保や社会的自立への援助を続けていきます。	

2	子どもの健全育成・ふるさと教育の推進	学校図書館活性化事業費	市内全小中学校の学校図書館に学校司書を配置し、図書の紹介や読書指導を行うほか、授業の中では図書館を活用した調べ学習などに取り組んでいます。また、学校司書は年に複数回の研修に参加し、学校図書館機能の向上を図っています。 各学校では、図書管理システムを活用して図書の貸出を行い、児童生徒の読書傾向が興味のある分野のみにならないよう、幅広い分野の図書の紹介を行っているほか、ブックトークや読み聞かせを通じて児童生徒の読む力を育てるための支援をしています。	
		ICT教育推進事業費	教育用タブレット端末や大型提示装置を市内全ての小中学校に配置し、授業や学校行事で活用しています。 子どもたちはデジタル教科書や協働学習アプリケーション、プログラミング教材を利用し、相互に関わり合いながら学びを深めています。 今後もICTを活用した「情報活用能力の育成」や「学びを深める授業」を目指し、利活用を進めていきます。	
		中学校教育振興費	中学校の教科書改訂に伴い、市内中学校に指導書を購入しました。中学校では全教科に指導者用のデジタル教科書を導入し、映像資料などを大型の提示装置に投影することでより分かりやすい授業を行うことができるようになりました。このような授業内容の視覚化により、生徒の学習内容の理解を支援しています。	
		ふるさと教育推進事業費	市内小中学校の全児童・生徒を対象に、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を行っています。 9年間の系統的・発展的な教育活動を通じて、子どもたちの地域への愛着・誇り、貢献意欲、実行力等を高めることを目指しています。 地域の教育資源を最大限に活用した教育活動を展開し、様々な世代が関わり合いながら子どもたちの学びを支える環境づくりを進めるために、これからも学校・家庭・地域が相互理解のもとで連携・協働した取り組みを進めていきます。	
		給食センター管理費	本事業では、安来市給食センターの管理運営を行っており、市内小中学校22校に給食を提供しました。今後も安全・安心・おいしい給食を提供できるよう、センターの管理運営に努めていきます。	
3	地域医療・福祉の充実	感染症予防事業費	予防接種法に基づき、年度内に65歳になる者、令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置として、70、75、80、85、90、95、100歳になる者を対象に帯状疱疹予防接種を実施することで、帯状疱疹の発症を予防し、地域医療の維持に資します。	
		福祉医療費	重度の障がいのある方、ひとり親家庭の医療費を助成することで、疾病の早期発見と早期治療に努めるとともに、医療費負担の軽減を図り、地域医療・福祉を充実させています。	

3	地域医療・福祉の充実	保健体育総務費	安来市のスポーツ及びレクリエーションの啓発・指導及び奨励や各種大会・講習会の実施及び支援等を達成するため、年間通して事業を展開しました。また、スポーツ少年団や各種競技団体の活動を支援しました。 
		社会福祉支援事業費	少子高齢化による生産年齢人口の減少、他産業との人材獲得競争、給与水準等の経済的理由などにより、市内介護事業所で介護人材の採用が思うようにできない状況となっており、介護職員確保、離職防止対策は本市の喫緊の課題となっています。 介護人材を安定して確保するため、新たに市内介護事業所で採用された介護職員が入居する民間賃貸住宅の家賃や宿舍の賃借料の一部を補助する新たな支援制度を令和5年度に創設しました。 今後も、安定した介護保険サービスを維持するため、当事業を含めた介護人材確保施策を推進していきたいです。
4	指定しない	マタニティ応援プロジェクト事業	東洋ライス株式会社及び島根県農業協同組合と連携し、出産を控えた妊婦の方、出産を終えた産婦の方および生まれてきてくれた子どもの健やかな成長を支援するため、特別な精米で、ビタミンやミネラル、食物繊維など栄養価を多く含む金芽米(きんめまい)を子どもが1歳になるまで無償提供します。
		母子検診事業(母子手帳及び妊婦乳幼児健診)	妊婦、産婦、乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健法(昭和40年法律第141号。以下「法」という。)第12条及び第13条の規定に基づき、市が妊婦健康診査、産婦健康診査、乳児健康診査、1歳6か月児精密健康診査及び3歳児精密健康診査を実施します。
		企業立地推進事業費	産業の振興と雇用の促進を図ることを目的とし、市内に施設を新設又は増設する企業に対し、奨励金を交付しました。 令和7年度実績 立地奨励金 1件(製造業) 家賃助成金 1件(ソフト産業) これにより、市内産業の高度化と雇用の増大が図られ、定住に寄与されるものです。 今後も奨励金制度の周知に努めつつ、企業誘致等のインセンティブとしたいです。 
		産業活性化センター事業費	行政と産業関連団体が連携し、『域外マネーの獲得(拡大)』、『地域雇用の拡大』、『市内循環型経済へのシフト』、『定住促進』を目的に、商工業、農林水産業、観光関連業など幅広い分野で事業者等の支援を実施しました。 令和7年度支援実績 ・事業者の販路拡大、経営課題解消等の支援 52件 ・地域資源のPR活動、セミナー開催等 今後も、事業者の実情に則した支援を通じて、産業活性化を図ります。 

4	指定しない	商工業振興費(安来商工会議所)	安来商工会議所70周年記念事業として「Neo土曜夜市」を開催し、若手経営者の連携と人材育成、中心市街地での賑わい創出と地域活性化を図りました。 ○開催日:令和7年10月11日 ○開催場所:中心市街地(大市場・中市場・西小路) ○主なイベント:屋台出店、ステージイベント等 ○来場者数:約5,000人	
		商工業振興費(やすぎ刃物まつり)	「やすぎ刃物まつり」は、刃物を題材に、安来と鋼との関わり、育んできた歴史と文化を見つめ直す事業として、有名産地の刃物展示販売をはじめ様々なイベントを以下のとおり開催しました。 ○開催日:令和7年10月4日、5日 ○開催場所:和鋼博物館周辺 ○主なイベント:全国刃物展示・即売、アウトドアナイフショー、包丁研ぎ、手作りナイフ教室、ペーパーナイフ作り体験、昭和の車の展示会、ステージイベント等 ○来場者数:延べ11,000人 ご家族から職人の方々まで多くの方の来場があり、今後も、安来市における一大イベントとして大きな賑わいを創出していきたいです。	
		畜産業費	各種補助メニューにより優良牛の保留・導入・改良を促進させるとともに生産団体の活動を支援することで畜産の振興を図りました。	
		ふるさと寄附推進事業費	安来市ふるさと納税は、現在25ポータルサイトを通じて、市内外の事業者の協力のもと魅力的な返礼品を全国の方へ紹介することにより、令和7年度は約42,000万円のご寄附を頂戴しました。またウェブ広告なども活用し全国に安来市の魅力を発信しています。 今後も、全国の寄附者の皆様のご支援に応えられるよう、新しい返礼品の開拓やリピーター寄附者との絆づくり、魅力発信等を行いながら関係人口の増加に寄与したいです。	
5	クラウドファンディング型ふるさと納税	月の輪まつり振興会補助金	やすぎ月の輪まつりは、月の輪神事を核とした祭りで、安来の夏の風物詩となっています。令和7年度は8月9日に花火大会、8月14日から17日に月の輪神事、8月16日にステージイベントを開催しました。花火大会とステージイベントには合わせて4万人の観客動員がありました。 今後も、地域一体となって盛り上がる月の輪まつりとなるよう取り組みます。	
		月山富田城まちづくり推進協議会負担金	月山富田城へお越しになる方から、見学の玄関口がわかりづらいという声が多くありました。こうしたことから道の駅を城跡めぐりの玄関口として明確化し、登山ルートへスムーズに促す導線を確保するための目印として、モニュメントを設置するに至りました。また、撮影スポットとしてもご利用いただけるものと考えています。モニュメントの材質はアルミ複合版で、標柱の高さ3m、幅50cmの4面体で、各面に「月山富田城の文字」や「尼子経久」「山中鹿介」の墨絵などを施しています。今後も来場者の利便性の向上を目指していきます。	